



## 準特選

(小学生一・二年生)

カマキリさん雨のシャワーでかおあらう

八幡市立橋本小学校 二年 長谷川 み月

## 講評

「雨のシャワー」という表現が雨をととても楽しいものにした。カマキリさんという呼び方からカマキリを友だちにしていることが分かる。カマキリといつしよにわたしも洗っているのだろう。

かぶとむしぼくといつしよにゼリーたべ

神戸市立美賀多台小学校 二年 岩館 蒼生

## 講評

ゼリーをいつしよに食べた、というところがいいなあ。かぶとむしとぼくは仲間、だから同じものを食べるのだ。



## 準特選

(小学生三・四年生)

妹が生まれた夜はまん月だ

長浜市立長浜北小学校 三年 塩田 心結

## 講評

妹が生まれた喜び、そして妹にたいする期待感などが「まん月」にたくされている。とてもすてきな満月の夜だ。

なみがひき二ひきのかにがのこつてた

大阪市立鷺洲小学校 三年 廣田 咲羽

## 講評

波打ち際の風景。二ひきの蟹は友だちどうだろうか。濡れた砂をほう蟹が絵のように見える。蟹は夏の季語。